



## 「静岡県総合計画」の“後期計画”（平成26年度～29年度）の策定に、議会から117件を提言！

静岡県は、おおむね10年後の姿を描く「基本構想」と、構想を実現するための「基本計画」（前期計画：平成22年度～25年度）で構成する「静岡県総合計画」を平成22年に策定し、これを基に県づくりを進めてきました。今日、甚大な被害が想定される南海トラフ巨大地震をはじめ、依然として予断を許さない経済・雇用情勢、エネルギーを取り巻く環境変化、人口減少の進行など、社会経済情勢は大きく変化しており、こうした本県を取り巻く環境の変化への的確かつ迅速な対応を図り「県民幸福度」の最大化を目指す県づくりに向けた道筋を明らかにする必要があります。

“後期計画”の策定に当たっては、県議会としても積極的に関わるべきとの姿勢で取り組んできました。県が作成した素案に対し、各党派（4党派）において検討を重ね、更に各常任委員会毎に検討を加え、◆富士山静岡空港の利用客数の見直し◆医師・看護師等の医療人材の確保に向けた、より具体的な取り組みなどを追加◆リニア新幹線整備が環境に与える影響に関する対応の明文化など、計117件を議会の意見として川勝知事に提言しました。

後期計画にはこれらの提言の多くが反映されており、県議会としてもより重大な責任感を持って、計画実現に向け取り組んでまいります。静岡県においては、人口減少に加えて人口流出が流入を上回っております。この浜北区に限っては、築地台が整備されたことにより人口が増えていますが、静岡市と浜松市は減少が顕著です。人口減少をくい止めるには、特に若者の働く場を確保することが重要です。既存の産業技術を活かした新たな産業の創出に向けてオール静岡で取り組む必要があります。産学官の一層の連携強化に取り組んでまいります。



渥美 泰一

次期総合計画に対する議会の意見を取りまとめ、知事に提言しました。

### 静岡県平成26年度予算の概要

#### 過去10年間で最大

一般会計予算総額1兆1,802億円、前年度比+411億円(+3.6%)

- 県税収入は企業収益の改善と地方消費税率の引き上げなどにより6.9%増
- 事業全体の重点化・効率化による歳出のスリム化、未利用財産の売却などにより162億円の財源を確保
- 財政健全化に向けて、27年度以降に活用可能な基金252億円を確保
- 人件費は退職手当引き下げなどで1.5%減、扶助費は介護給付費負担金などの増加により6.5%増

### 2件の議員提案条例を制定

#### 消防団の活動に協力する事業所を応援します

この条例は消防団員を確保し、円滑かつ安定的な消防団活動を図るため、当該法人等に対する事業税に係る特例を議員提案により制定したもので、平成24年度から施行しており27年度まで延長します。内容は、消防団員が勤務する事業所を有する法人の各事業年度の事業税の額の2分の1（限度額10万円）を控除するものです。これまで2年間の実績 適用件数68件 控除税額509万円

#### 中小企業者の受注を支援します

「静岡県中小企業者の受注機会増大による地域経済の活性化に関する条例」を制定しました。将来に向かい活力ある静岡県を築くためには、県はもとより関係者が、中小企業が地域経済や県民生活の向上に果たす役割を理解し、中小企業の健全な育成・発展につながるよう社会全体で支援していくことが重要です。あくまでも、中小企業者自身の創意工夫・努力を基本としつつ、社会全体で中小企業者の受注機会増大に取り組むべく、県、市町、県民の協力について定められました。

### 法人事業税超過課税に係る政令市への交付金を決定しました

法人事業税の超過課税（税率5%）を引き続き5年間延長することとなりました。5年間の税収見込額は325億円。地震対策事業に限定して活用していきます。静岡市と浜松市には、それぞれ37億円、38億円が交付されます。

### 浜岡原発の再稼働に向け、適合性審査申請が提出されました

2月14日、中部電力が浜岡原発4号機の再稼働の前提となる新規規制基準への適合性を確認する審査を、原子力規制委員会に申請しました。

#### 申請の概要

- 新しい規制基準に示された安全機能の一斉喪失を防止する観点から、地震・津波のほか竜巻・火山等の自然現象や火災等への対策の内容
- 万一、重大事故が発生し対象施設の機能が喪失した場合にも、炉心損傷や格納容器破損等を防止する対策の内容

#### 今後の見通しと県の対応

仮に規制委員会が適合性を認めても、再稼働には地元の同意が必要になるので、中電が目指す再稼働は見通しが立っていない。県としては、原子力工学や放射線などの専門家6人で構成する「県防災・原子力学術会議」において、中電が示した対策などを県独自で検証します。

#### 県議会の対応

昨年12月に、浜岡原発の安全性を第一に、原子力発電の今後および総合的エネルギー対策等について調査・研究し、提言する場として設立した「原発・総合エネルギー対策議員連盟」の活動を通して、原発再稼働に際しても適格な判断ができるよう備えています。



議場における本会議の質問では一括・分割、一問一答方式により活発な議論が展開されます。



本会議場に県議会事務局職員全員集合！



県立大学卒業式（H26.3.18）卒業生へのお祝いと期待を述べる。



## 県の本年度重点施策 8項目に1,509億円

### 1.大規模地震への万全な備え

- 地震・津波による犠牲者を10年間で8割減少を目標に「地震・津波対策アクションプログラム2013」を前倒し実施 **79億6,600万円**
- 富士山静岡空港隣接地の、国の基幹的な広域防災拠点としての位置付けを目指して県が整備を進める
- 木造住宅及び、病院、百貨店、ホテルなどの大規模建築物の耐震化を促進 **10億6,000万円**

### 2.「内陸フロンティア」を拓く取り組み

- 国の総合特区指定地域及び、県版の特区指定区域を重点的に整備し、企業誘致を促進 **5,400万円**
- 防災・減災と地域成長を両立させ、美しく強靱な県土を形成
- 本県の自然、文化、産業を活かし、「食の都」「茶の都」「花の都」「森の都」「水の都」づくりを進める
- 富士山静岡空港の年間利用者数70万人(現状45万人)目標達成に向けて空港運営形態の改革と増便及び新規路線の開拓 **23億4,100万円**

### 3.人口減少社会への挑戦

- 少子化対策の強化・充実を図るため、結婚から妊娠・出産・子育てまで切れ目なく支援 **1億2,000万円**
- 従来の特定不妊治療に加え、一般不妊治療のうち保険が適用されない人工授精の費用に対する助成制度を創設 **3億8,600万円**
- 保育所待機児童ゼロを目指して、保育所や認定こども園を整備する市町を強力に支援 **3億3,500万円**

### 4.富士山を活かした地域の魅力づくり

- 世界遺産委員会に、平成28年2月1日までに提出する構成資産や来訪者の管理戦略・情報提出戦略などの策定を、山梨県や関係市町村と連携して進める **1億6,000万円**
- 富士山の普遍的価値を後世に継承するための拠点施設として、富士宮市に建設する「富士山世界遺産センター(仮称)」の平成28年度開館を目指す **1億8,100万円**
- 富士山五合目から山頂を目指す登山者から1,000円を頂き、「富士山後継基金」とし環境保全や登山者の安全対策に活用
- 三保松原の消波堤を突堤に置き換える対策を行うほか、松枯れ対策や展望景観を阻害している電線の地中化を進める
- 富士山や南アルプス、風光明媚な浜名湖、駿河湾などの本県の恵まれた自然を研究テーマとする博物館「ふじのくに地球環境史ミュージアム(仮称)」を旧静岡南高校跡に平成27年度の開館を目指す **5億5,200万円**

### 5.健康寿命日本一の延伸

- 医学修学研修資金貸与者を、現在の100名を120名に拡大するなど医師確保を図る **12億円**
- 特別養護老人ホームなどの介護施設を積極的に整備し、1万人以上いる入所待機者の解消を図るほか、長寿者の生きがいづくり、社会参加の促進、認知症対策を進める **67億5,100万円**
- 介護人材の確保対策として、介護事業所へのキャリアパス制度の導入や個別相談などの支援策を拡充 **1億500万円**

### 6.新成長産業の育成と雇用促進

- 3月に設置した、産業界、金融界を代表する方々による「産業成長戦略会議」で本県産業の成長戦略を官民一体となって検討し、迅速に実現
- 医薬品・医療機器産業の生産額が3年連続全国第1位となり、1兆円を超えた東部地区のファロマハレープロジェクトを更に伸ばすため、地域企業の参入支援や研究開発の拠点施設を平成27年度までに整備 **15億5,000万円**
- 全国に誇る浜名湖の水産資源、観光資源であるウナギ、アサリの保護・回復に積極的に県が支援 **800万円**
- 「農地中間管理機構」を設置し、農地を集約・整備し、意欲ある担い手への貸し付け促進 **5億8,600万円**
- 耕作放棄地再生は、昨年度までの目標2,000haを達成し、引き続き今後4年間で1,200haの再生を目指す **6,200万円**
- 県内で3か所に設置されている「しずおかジョブステーション」で、若者や女性、高齢者などの就職相談からセミナー、職業紹介まで一貫した就職支援を実施 **8,500万円**

### 7.エネルギーの地産地消

- 住宅用太陽光発電設備への支援を引き続き推進するとともに、中小企業者等の新エネ・省エネ設備導入を支援 **7億900万円**
- 農業用水や下水道施設等を利用した小水力発電の設置を研究するとともに、伊豆半島での温泉熱発電や御前崎港での風力発電など、エネルギーの地産地消を推進 **13億9,700万円**

### 8.多彩な人材を生む学びの場づくり

- 国語・算数等の授業における少人数指導のための非常勤講師250人と支援員120人を全市町に配置し、小学生の「確かな学力」の向上を目指す **3億2,000万円**
- 教育委員会事務局の多くの教員を学校現場に配置し、学校の教育力向上を目指す
- 引佐高校、気賀高校、三ヶ日高校を再編し「浜松湖北高校」として平成27年度の開校を目指す  
特別支援学校は、掛川地区及び嶺南地区に平成27年度の開校を目指し、西部特別支援学校の平成29年度の移転改築を目指す **75億7,400万円**
- 意欲ある高校生に対し、大学レベルの教育に触れる機会を提供するなど、高校と大学の連携を強化するとともに飛び入学などの具体化を検討 **1億1,100万円**



自民党看護議員連盟視察 (H26.2.18) 県内における看護の状況を調査



今年も岩水寺まつりに参加 (H26.2.16)  
地域の安全と発展を祈願



長寿者いさいきフェア (H26.1.18)  
浜北文化センターで盛大に開催されました。



わかざ学園が新装 (H26.3.16)  
地域の皆さんと一緒に機織り体験



厚生委員会視察 (H26.1.15)  
駿峰三方原病院ドクターヘリの活動状況を調査



## 静岡県議会議員あつみ泰一事務所

〒434-0027 浜松市浜北区油一色132-1  
TEL.053-585-1313  
FAX.053-586-6155

私の県政活動をご案内いただけます。県政へのご意見をお寄せください。  
ホームページ <http://www2.wbs.ne.jp/~atsumi-t/>  
Eメール [atsumi-t@mail.wbs.ne.jp](mailto:atsumi-t@mail.wbs.ne.jp)

「あつみ泰一携帯サイト」を開設しました。  
携帯カメラでQRコードを撮っていたら、あつみ泰一のサイトにアクセスできます。是非メールアドレスを登録をお願いします。ホットな話題をお送りします。

